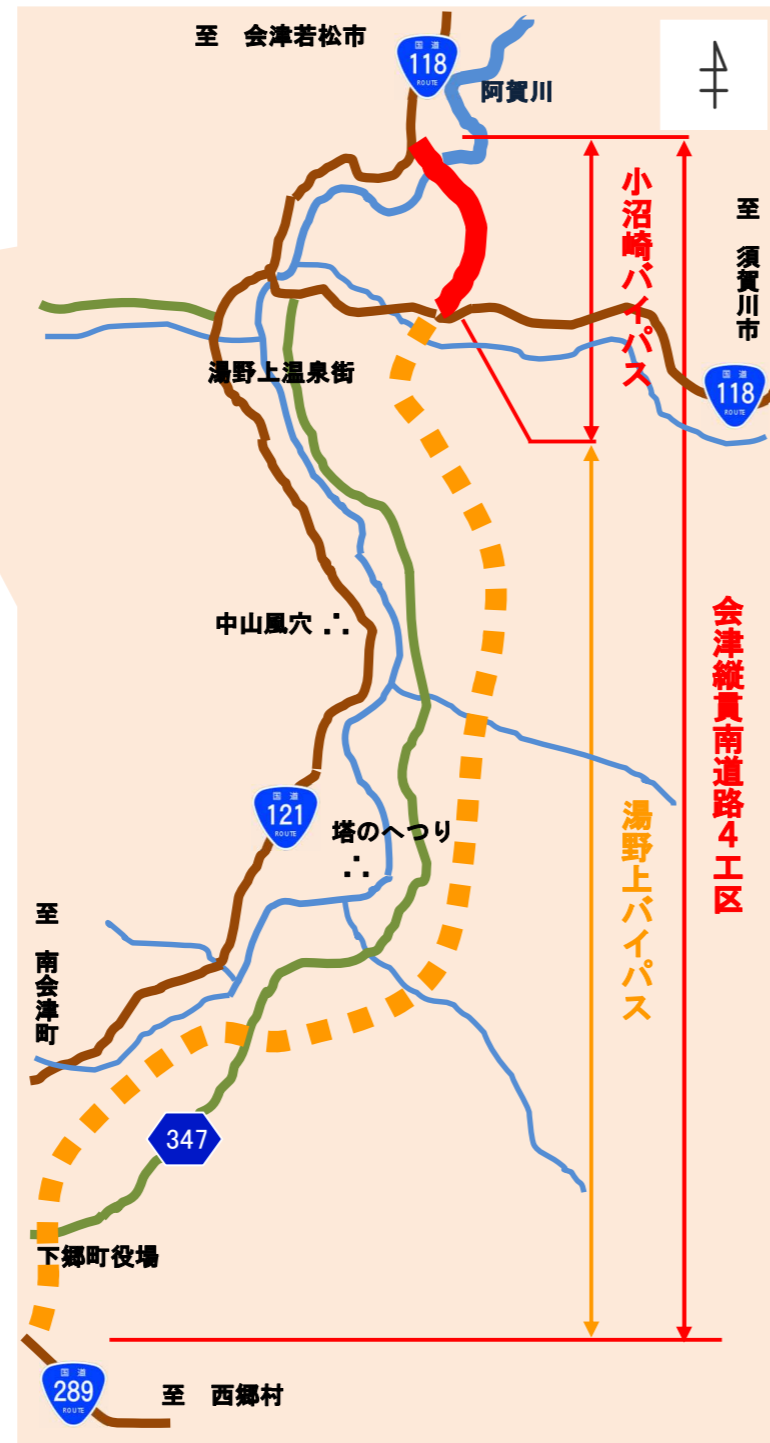


会津縦貫南道路



事業の経緯

- 平成10年6月
地域高規格道路の計画路線に指定
- 平成11年12月
下郷町の一部区間(小沼崎～塩生間9km)が調査区間に指定
- 平成14年度
小沼崎バイパスを一般国道改築事業として事業着手
- 平成19年3月
下郷町の一部区間(小沼崎～塩生間9km)が整備区間に指定
- 平成19年度
湯野上バイパスを国道改築事業(地域高規格道路)として事業着手
- 平成24年度
湯野上バイパスが国の直轄権限代行事業により事業着手
- 平成26年
小沼崎バイパスの本線工事着手



国道118号小沼崎バイパス

(会津縦貫南道路4工区)



完成予想図(下郷町方面から会津若松市方面を望む)

福島県南会津建設事務所事業部道路課

電話番号 0241-62-5325

ファクシミリ 0241-62-5340

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41360a/>

福島県南会津建設事務所



国道118号小沼崎バイパスについて

会津縦貫南道路は、会津縦貫北道路とともに会津地方の復興を支援し、県土の骨格を形成する6本の連携軸として会津地方を南北に結ぶ地域高規格道路であり、会津若松市から南会津町に至る延長約50kmの道路(全6工区に設定)です。今回着工する箇所は4工区に位置し、小沼崎バイパス(県事業)と湯野上バイパス(直轄権限代行業業)により構成されています。

本線の整備により、安全で円滑な交通が確保され、地域の皆さんの利便性の向上や産業振興、交流の拡大などに寄与し、福島を復興を加速することが期待されます。

現道の状況

現道は、会津若松市と南会津地方を結ぶ唯一の幹線道路であり、大型車を含む多くの車両が通行しています。

しかしながら、急カーブが連続して見通しが悪く、幅員狭小ですれ違いに支障を来しており、また、落石等の危険性があることから、安全安心な道路の整備が求められています。



事業の概要

事業区間:

南会津郡下郷町大字小沼崎地内～
同郡同町大字高崎地内

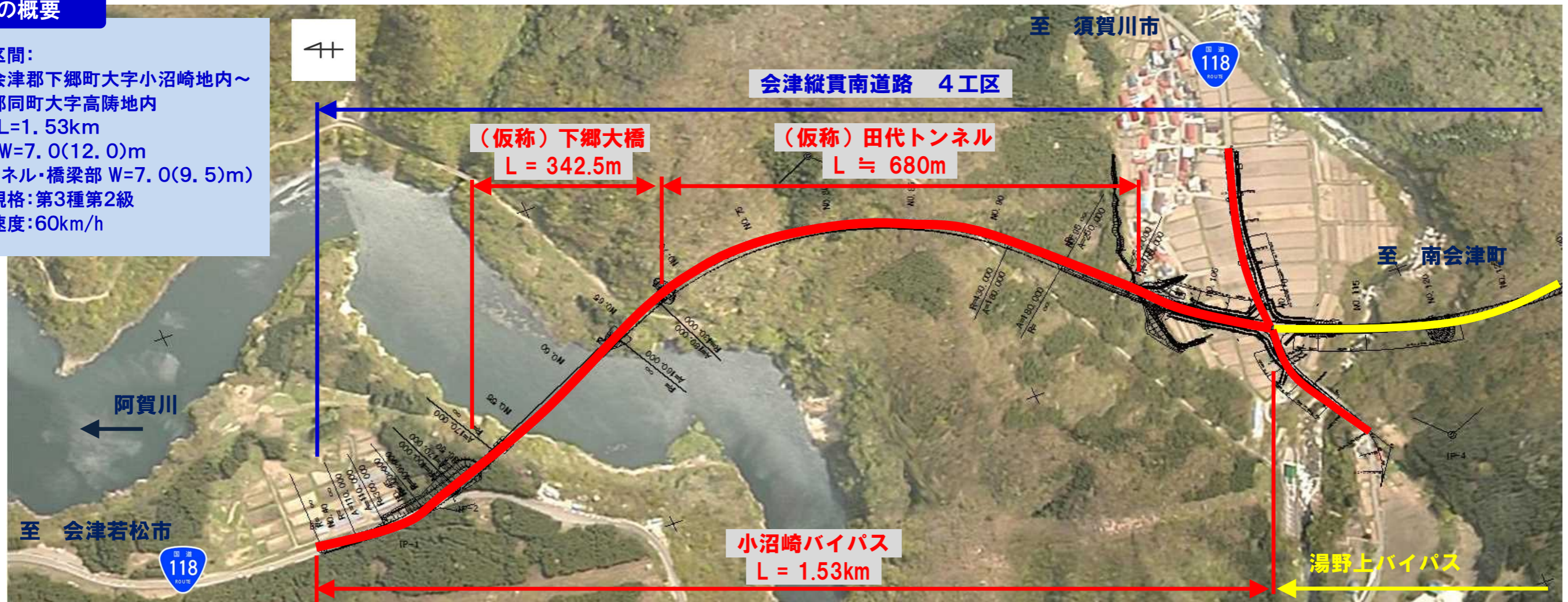
延長:L=1.53km

幅員:W=7.0(12.0)m

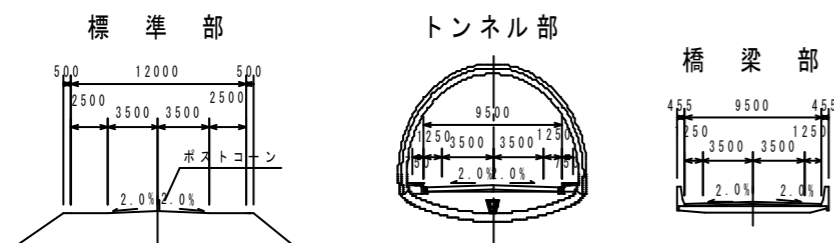
(トンネル・橋梁部 W=7.0(9.5)m)

道路規格:第3種第2級

設計速度:60km/h



標準横断面図



(仮称)下郷大橋

橋長:342.5m

形式:上部工 RC 固定アーチ橋

下部工 逆T式橋台

基礎 場所打ち杭、深礎杭

アーチ支間長:200m

